24年度第1回 博物館協議会 抄録

(司会 杉浦文化財課長)

(市民憲章唱和)

(異動職員の紹介)

1 あいさつ

(教育長)

(会長)

2 協議事項

(会長とりまわし)

(1) 平成23年度博物館事業実績について

(資料説明：事務局)

(会長の要請で各担当から補足説明)

(委員)

ゴミだしのメールサービスを受けている。同じように歴史博物館でもメールサービスで企画展の情報など情報提供ができないか。

(事務局)

現時点では、希望者に郵便で情報提供をしている。今後の課題としたい。

(委員)

回覧板で1部だけ回ってくる。カラーでなくてもよいので「催し物案内」を各家庭に配布できないか。

(事務局)

催し物案内は年2回発行。個々の展覧会については広報の裏表紙に掲載して、各戸配布されている。「催し物案内」の全戸配布については検討しなければならない点が多い。

(委員)

催し物案内を広報の1ページに載せることはできないか。
また、印刷物が3ヶ月前くらいにできると良い。市議会議員が市民の前で
あいさつするときに、博物館での展覧会や催しにふれてもらえると良い。

(事務局)

検討していきたい。

(委員)

安城駅 120 年では小中学生が大勢見学したとのことだが、子どもたちの関
心の度合いはどうか。家庭で大人に話しをしてもう一度来館するというよ
うなことがあったか。

(事務局)

会期中に来館するすべての小中学校を案内した。短い時間でわかる内容に
限って説明したので、比較的真剣に聞いてくれたと思う。

(委員)

企画展や特別展で展示解説は実施しているか。参加者の数などはこの資料
にないが。

(事務局)

展示解説は都合に合わせて実施しており、ポスターやチラシには日時を載
せている。回数はまちまち。展示解説を目当てに来館するお客様もあるが、
ほとんどは偶然展示解説の日時に重なるケース。解説をしているうちに参
加人数が増えてくることが多い。1回あたり多くても20人程度か。

(委員)

議員に来館をうながすことはできているか。

(事務局)

案内は出しているが、一度検討してみる。

(委員)

町内会長あたりも、地域の資料が出品されるのであれば、PR していただ
けるのではないか。

(委員)

正月の遊びのときの遊びのコーナーや鎧の試着会のような体験学習が、来館者の裾野をひろげることにつながると思うので、体験学習も重視してもらいたい。

(事務局)

実際には個々の催しに参加しても展示をみてもらえない場合も多く、工夫を重ねる必要がある。

(事務局)

体育協会がここを拠点に競技場まで歩いていく企画をした。このときはここもみてもらった。今年度のこどもまつりで鎧でPRができないかとか、あるけ運動や県民茶会などで、興味のない人にもPRすることができないか、すこしづつだが考えている。

(委員)

図書館にもさまざまな団体があるが、博物館でもサークルの横のつながりがあれば、動員力になるのではないかと。展覧会に関係している地域にはスポット的な宣伝を進めてはどうか。

(事務局)

今年度ボランティアを再編しているところだが、ポスター貼りやチラシの配布や口コミについても協力をお願いしている。

(委員)

解説を短くしたり、フリガナを付けたらしてほしい。

(委員)

大きな流れがわかるようにしてほしい。何を表しているのか、わからないことが多い。

(2) 平成24年度博物館事業計画について

(資料説明：事務局)

(「震災を記憶する」と「からくり人形の世界」は担当が補足説明)

(委員)

駅前のもやデンパークのオルゴールも、からくりの一種だと思う。これらも紹介できないか。映像でも良いので。

(委員)

「震災からよみがえった・・・」、安城市の文化財も紹介できないか。今ある文化財をどのように残していくかを訴えてほしい。

(事務局)

よい手法があれば安城の文化財にも言及する方法を検討したい。安城の文化財を紹介する展示は別途考えていきたい。

(委員)

ビデオ番組を作成するのであれば、教育センターから各小中学校に巡回させるとか配布するとかでPRできないか。

(事務局)

著作権の問題で難しい。複製のからくり人形については、6月15日(金)に文化センターでお披露目会を予定している。人形の実演をみてもらう予定。

(委員)

海外の人形との比較は検討できないか。

(事務局)

日本のからくりの特色が、解説文などで紹介できるよう取り組んでみる。

(委員)

複製のからくり人形は、いつきても動くところをみることができるのか。

(事務局)

展示解説のときには、動かす予定。展覧会の会期終了後は、すぐに常設などで展示をする予定はない。

(委員)

震災を記憶する、小中学校にむけて特にみてほしいところはどこか

(事務局)

子どもたちがみてわかるもの、ということで新聞切り抜きコンクールの作品を展示する。また、日々地震に備えることを伝えたい。

(委員)

下半期の部分はまだアイデア程度ということだが、願わくばここに下半期についても具体性がほしい。ところが事務局が日常的に忙しいので、1年に限ってなんとか増員することができないか。

(事務局)

人員の要望はしているが、なかなか実現は難しい。ご指摘のようなことはこちらでも問題にしている、例えば今日であれば後半の事業についてとりあげるべきと思う。どこかで事業を減らしてサイクルを立て直すことも思っている。七夕のときに出かけていってPRができないかとも思う。

(事務局)

からくり人形が動いているところをみてもらうことが肝心であることは承知しているが、複製を常時動かすことは、耐久性やメンテナンスの点から難しい。最低限の技術的なことは習得して、できるだけ頻度を稼ぎたい。

3 その他

(委員)

市政ニュースは学校教育で活用することはできるのか。

(事務局)

確認して連絡させていただく。

(委員)

博物館の屋根は塗装しないのか

(事務局)

屋根は耐候性鋼材で、錆で表面を保護するようになっている。

(委員)

絵伝の模写を公開する機会はないか

(事務局)

現在本紙部分のみの制作で、今後順次表装を進めている。準備ができれば今後展示していく。

(事務局)

次回協議会を7月27日(金)午前中に予定したい。あらためて調整をすすめてご連絡申し上げる。

(議事終了)

あいさつ(部長)

いただいた意見を参考に、取り入れることができるものについては取り組んでまいりたい。またPRの重要性については、またご意見がいただければと思う。

(常設展示改修箇所の見学)